

1. 件 名 : 「リサイクル燃料貯蔵株式会社による使用済燃料貯蔵施設の事業
変更許可申請に係るヒアリング (8)」

2. 日 時 : 令和5年11月22日 (水) 10時15分～11時20分

3. 場 所 : 原子力規制庁 8階会議室 (TV 会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

田中管理官補佐、伊藤安全審査専門職、田口技術参与

リサイクル燃料貯蔵株式会社

赤坂常務取締役 他18名

5. 自動文字起こし結果 : 別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こしによるものであり、誤りを含む場
合があります。

6. 提出資料

資料1 航空機墜落による火災評価フロー

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	規制庁の田中です。11月22日、RFSの事業変更許可に係るヒアリングを開催いたします。
0:00:10	まずあれから出席者の紹介をお願いいたします。
0:00:17	IRFSむつ本社です。むつ本社からは赤坂センター長、大木浦、日浦加瀬恵三部長を高橋理事長と保全部長を、シノダ技術安全部長のほか、
0:00:32	元で
0:00:36	計12名の参加です。以上です。
0:00:43	セトタカヤツジ続きまして、あれ首藤 協お願いします。
0:00:48	はい。RFS東京です。RFSと強化出席者は、白井東京事務所長。それと、
0:00:58	WEB参加になりますけれども、参与、
0:01:05	文章品証部長兼、使用済み燃料取扱主任者、あとの設工認担当、
0:01:16	国家4名になります。7目です。以上です。
0:01:24	規制庁の田仲です。物本社は合計12名。東京は継受明け斜めで、
0:01:32	トータル19名の参加ということでよろしいでしょうか。
0:01:37	はい。よろしく申し上げます。
0:01:40	規制庁高井承知いたしました成長側の3ヶ所ですけれども、
0:01:46	本庁側からは、イトウタナカの二名、そしてWebの方からタグチの計3名が参加していただいております。
0:01:53	本日のヒアリングですけれども、現在前回審査会合を踏まえて補正の準備をされてると思うんですけど補正に関わる内容について一部、
0:02:04	規制庁側からコメントをお伝えするもの、また
0:02:10	だから、
0:02:11	今までの
0:02:14	コメント回答ですか、すでに出ている審査、事業性評価資料とかのナカノについて一部確認したいことがありますのでそちらについて、
0:02:24	規制庁側からお伝えし、
0:02:28	回答できるものについては回答していただき今もその場で回答が難しいものについては後日、買い取った形で、
0:02:37	対応いただければと思っております、
0:02:43	その谷津の方を考えてますけれども須川なんか他にありますかでしょうか。
0:02:50	はいRFS側特にごさいませんよろしく申し上げます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:55	形態の段階です。それではまず最初に現在の補正の内容に関するところではございますけれども、
0:03:04	まず前回の審査会合のときに、
0:03:11	例のがソウノインターの件を踏まえて、可搬型機器等の資機材の配備に関して、本文等にしっかり、
0:03:21	書き込んでいただくということでその方針についてご説明いただいております。
0:03:26	あの時の案でももう講師としてはいいと思っているんですけれども、ちょっとちょっと我々のか審査書像のまとめの中です、関係とする中で、
0:03:37	組織体ってのは何のためのものか、そのそういう目的というものをちゃんと明確にした方がいいのではないかと。
0:03:44	いうところから、ただ資機材を適正配備するというのではなくて例えばですけれども、資料で燃料貯蔵施設の基本的安全機能の計測。
0:03:55	放射線監視が確実に実施できるよう必要な資機材を適正に配備するというような形で少し丁寧に記載をしていただければと思うんですけれども。
0:04:07	ちょっとご検討いただけますでしょうか。
0:04:12	はい。RFS三つ本社のキョウウでございます。
0:04:16	検討いたします。こちら、
0:04:19	今考えておりますイメージとしては使用済み燃料貯蔵施設の基本的安全機能の、
0:04:29	話の代替が確実に実施できるよう、必要な資機材を適切に配備するぐらいの記載を、
0:04:39	検討しておりますが、
0:04:41	そういうイメージでよろしいでしょうか。
0:04:44	規定の中で、細かいそこら辺の文言は今のような形でいきたいと思いますので補正の際に反映をよろしく願います。
0:04:55	はい、承知しました。
0:04:59	いや、規制との店子です。
0:05:01	あと、もう、もう言ってちょっと、
0:05:05	今までお伝えしてなかったところなんですけども、今回キャップを追加する形を目をお受けたカスクを追加するということで、形の部分で、
0:05:18	すでに適合性の確認が終わってる部分、また施設側に来てからはシバで評価をした上で問題がないと判断すると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:26	ていうところがあると思うんですけども、
0:05:31	逆にに関する4機能のところの基本方針の中で、この型式証明のキャスクが入ったとしても、
0:05:43	それでは基本的安全機能については影響与えまいがないというようなことがちょっとわかるようなものが何かどこかに入れられないかなあと、ちょっと
0:05:53	考えていまして、
0:05:56	今後であればそういうような形で
0:06:00	全部は全部形で終わってるのは、
0:06:07	閉じ込めのようなものについては特段ついてないのかもしれないんですけど、例えばその臨界等であれば、一応、ワタヒキで評価はしているものの、してても、
0:06:18	入れてから
0:06:21	いわゆる完全反射で評価をするというのは、許可側のことでし、
0:06:25	そういうところにおいてもちゃんと臨界、
0:06:29	もう安全が保てるですとか、あと遮へいの方につきましても、
0:06:37	営業スペクトル画像超えてはいただいているものの、あれを附属する形になるかもしれませんけれども、
0:06:46	新しいキャップはこうあっても、
0:06:50	立山社員。
0:06:52	については満足するとか、
0:06:56	そういうような形で
0:07:00	ちょっと舞台のイメージを明確にここでお伝えしにくいんですけども、
0:07:05	今回の型式を追加することによる影響がないということをもた回収追加しても問題がないというようなことについてをご検討いただきたいと思うんです。
0:07:14	いかがでしょうか。
0:07:19	はい。RFSむつ本社の木村でございます。
0:07:25	今ウタドイ。
0:07:26	コメント返答させていただきたいと思いますが、
0:07:31	基本的に
0:07:33	今我々変更申請で変更がでない部分というのは変更がないイコール新しいキャスクが入ってもそのまま大丈夫ということの裏返しなんですが、
0:07:46	そういうことでは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:49	なんて言うんでしょうか。借りないというそういうご指摘でしょうか。
0:07:55	規制庁の田仲です。その基本的な考え方は今おっしゃっていただいた通りだと思うんですけども、
0:08:02	今回
0:08:03	改めてコイケワタヒキを取り込むという名前まで、おそらく御社の今回の許可の申請書が初めてのパターンでちょっとなるところもあって、この型式をちゃんと入れたことの何か受け皿をどういうふうに表示のがいいんだろうというちょっと今、
0:08:18	我々でも、
0:08:20	若干悩んでるのがありまして、
0:08:22	そういうところろ、丁寧に書いていただけると、若干冗長になるのかもしれないかもしれませんが、よりわかりやすい申請書になるのではないかなと思っております、
0:08:34	まだちょっとご検討いただけないでしょうか。
0:08:40	はい。ちょっと、
0:08:42	まずご検討させていただきたいと思いますが今あるでしょうかね逆にイメージとしては、いろいろな施設ですとか、キャスクですとかそういう設計の、
0:08:56	記載箇所がありますが、
0:08:58	キャスク側の、
0:09:01	心に他に影響を与えないみたいな形で、
0:09:05	各、
0:09:07	イメージをお考えなのか。
0:09:11	或いは、何かキャンプ以外のところに、全部、全体的な新しいキャスクが、
0:09:20	ワーッと変わらないみたいになり雨のようなイメージでおられるのかな、その辺りのイメージを、
0:09:28	少し
0:09:30	稼働台数いただきますと、助かります。以上です。はい、規制庁の田仲です。そういう意味でいうと例えば除熱なんかですと
0:09:40	ジャフコの除熱をワタヒキ進んでいてタテの除熱は今回の許可では明らかに内田
0:09:45	ませんわかりやすいので、
0:09:47	例えば評価のところに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:53	そのワタヒキを抜けたキャスクを追加してもというような感じの何かしらの、
0:09:59	それ紐づきがあると、より明確かなあというふうな、
0:10:03	業務。
0:10:08	規制庁の丹タグチですけど。
0:10:12	田仲さんによろしいですかね発言して、お願いします。
0:10:16	まず、伯東だけ伝えますと、
0:10:22	過去にトピカルレポート制度っていうのありまして、
0:10:27	例えば今、
0:10:29	教科書を見ていただくと参考文献で、
0:10:33	日立の
0:10:35	HDP-69Bのトピカルレポートがついてると。
0:10:42	なのでそのトピカルレポート制度の時には、
0:10:46	その文献をつけて、
0:10:48	評価ではその差分とですね、一応許可として必要な事項を、
0:10:55	書くと、いうことで
0:10:58	審査、
0:10:59	もう一つ、1件やったことあるんですね。
0:11:02	それを法律化したのが今回の制度で、
0:11:09	すべてこのタダ式の
0:11:16	型式認証の中にも全部
0:11:19	入ればいいんですけど今回、
0:11:21	運用面で変わったり、型式指定のものを持ってきたり、ホンダの独自なもの追加されて、
0:11:30	かなりこの何を申請してるかわからないんで、
0:11:34	祖父、そういう意味で、
0:11:38	添付の安全設計を見ていくと。
0:11:42	結局休み。
0:11:45	それを前提とした施設概要しかなくて、
0:11:52	タダと事故メインで、
0:11:55	蓋間圧力とか、
0:11:57	それから、基準漏えい率、
0:12:00	それが、
0:12:02	あると。
0:12:03	計測制御系の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:06	この設定値っていうのは、大体だ、妥当だねってわかるんですけど。
0:12:11	それがないもんですから、
0:12:14	これは、
0:12:16	型式指定なのか。
0:12:18	どうなのかわからなくて、
0:12:20	こちらの審査が、
0:12:23	どんどん超えてると。
0:12:25	いうことであれば、
0:12:27	やはりこのキャスク、
0:12:29	Ⅱ型キャスクの、
0:12:31	キャスクの詳細っていうんですかね、今のその添付にある中に、
0:12:40	BWRチームだったAPWRっていうのは、
0:12:44	書いていただくしかないのかなと思ってて、
0:12:49	プラス、
0:12:51	その方が多分お互いに小、
0:12:54	何を申請して何を審査したかわかるかなっていう。
0:12:58	あとですね、あくまでもこれは
0:13:02	個人的な意見かもしれませんと。
0:13:04	以上です。
0:13:11	なかなかちょっと、若干私の申し上げることとして申し上げれば少し混在してるのかもしれないんでちょっと先ほどのお答えになってるかどうかはちょっとわからないんですけども、あれセガワいかがでしょうか。
0:13:28	を、
0:13:30	RFSもクドウ本社のキヨウラです。
0:13:33	ちょっと、
0:13:34	今すぐに
0:13:36	何ていうんでしょうか今いただいたアドバイスを消化できないところもございますので、
0:13:42	少し
0:13:43	文章の前アノ. 登録の全体の立て付けで
0:13:49	ワタヒキ証明
0:13:52	と我々の施設の取り合いの部分で、何かの記載を足した方がいい部分があれば、あそこに、
0:14:01	何か、
0:14:03	記載するというようなイメージでまずは全体眺めてみようかと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:07	思います。
0:14:09	ちょっと阿部さんからいただいたアドバイスのうち、今回のキャスクの説明が、
0:14:18	そもそもあんまりないというご指摘については、
0:14:23	ちょっと従前から私どももちょっと何か
0:14:29	ヒアリングで説明する機会が少なく、もう完全に伝わってないかもしれませんがキャスクのパートの
0:14:37	添付 6 のキャスクのパートについては基本的に型式証明を参照すると。
0:14:43	していた型式証明丸呑みで、だからこの今の添付 6 の、
0:14:49	キャスクの細かい記載そのものは、結局タイプ 2Aしか文字裏ではないと、というような構成になっておりまして、
0:14:59	丹治さんの
0:15:03	ご指摘だとそのパートの何か結局、型式証明の
0:15:10	ものを丸ごと
0:15:12	持ってきて、その基本機能の説明加えた方がいいという、
0:15:17	ご指摘でございましょうか。規制庁の田口です。それをそれとすごく
0:15:27	わかりやすくなる。例えば
0:15:30	遮へいの欠陥がついてますけれど、
0:15:36	そのBWRのオガタだけの今の結果なんですね。
0:15:41	ええし、そこにコウ。
0:15:44	新しいライブラリの評価結果を使う
0:15:48	とやっぱり、
0:15:49	津波の中で、3タイプ。
0:15:53	もう、こういう値を使いたって言った時に、
0:15:58	その
0:16:01	姿と、PWRが一切書かれない。
0:16:07	よりも、
0:16:08	そういったものがあって、
0:16:11	新しいライブラリで、今般、
0:16:14	というようなこととかですね例えば
0:16:17	金属キャスクの中に、
0:16:19	経年劣化があるんですけど、
0:16:22	実はその中でも、
0:16:24	めっきり以外のところで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:28	塗装しますって書いてあるんですけど、塗装して、
0:16:31	イクノは、アレスであって、
0:16:35	舗装を前提とした設計をしてるだけなんですね。
0:16:41	なので、
0:16:42	そういったところをコウ、
0:16:44	許可に書くところ、
0:16:47	最終形態がわかりやすい。僕言うと、
0:16:51	型式の中では、
0:16:54	そういう
0:16:56	強み燃料の記述を落としたりですね。
0:17:00	管理に係るものを落としたりしてます。
0:17:03	さらに、
0:17:06	その当時の
0:17:08	許可申請になっているので、
0:17:10	その後いろいろこうくっついてきた。
0:17:13	そういったところまでフォローできてないと。
0:17:17	そんなところが背景にあります。はい。
0:17:23	だから、こうしてくださいっていうことではなくて、そういった問題点を考えると、
0:17:29	当初その型式証明通りだっという説明からですねかなりこう複雑ふうになんて今なっていて、
0:17:38	であれば、
0:17:40	一番コウ。
0:17:41	手っ取り早く進むためには、全体と言った方が、
0:17:46	こちらがもうスムーズになる。
0:17:49	かなという感じですね。はい。
0:17:54	規制庁の田仲です。
0:17:56	ちょっと
0:17:58	今ちょっと田淵が申し上げたことは、確かにそれが一番すごいだっというのもあるんですけど、一方で
0:18:08	型式証明を金曜までに、我々、処分してる部分でもあるのでその部分をそのまま使うということを全部否定するものではないので、
0:18:21	ちょっとケースバイケースという形で考えたいと思っています。
0:18:27	全部としてしまうと片平箕輪、いわゆる麻痺が全くなってしまうと思いますんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:32	その差分のところも一遍にさせていただきたいと思いますし、話、
0:18:37	大事なインプットとこの部分とかについては
0:18:41	そこはしっかりと明記させていただきたいという思いがあり、
0:18:46	ですんで
0:18:48	今回
0:18:53	審査会合の場合においても燃料仕様等についてはしっかりと全部、はい。
0:18:59	私を名糖運輸して記載しますという形で、Pにかけたところの公表等も含めても全部やっていただくことになるかと思うんです。
0:19:10	今の添付 6 のところの、例えば燃料使用の 3 点。
0:19:15	4.1 ナカノとコウの部分も、だからそういう意味では、今片表明の添付書類をユリらせていただいていますけど、
0:19:25	ここは、少なからず、
0:19:28	日、本文と同じような、定期を考えていただきたいと。
0:19:34	思います。
0:19:35	あとはすでにヒアリング等でも、
0:19:40	つか、議論のあった、
0:19:43	3.3. 6 表のところの記載ですかね、この部分は先ほどタグチも気にしたところだと思うんですけども、この記載については、
0:19:55	はい。
0:19:56	合計 3 脚のデータを並べていただいた上で、主要なところで使われるワタヒキ遮へいなんかのところについては、
0:20:08	どれが最大で何がわかるやつですとかあとは、ちなみに使う支社長。
0:20:14	データはどれか分かるかにする、どれを使ってるかっていうのを明確にするというような形で考えていただきたいと。
0:20:21	思っております。
0:20:23	多分こういう意図でよろしいですか。
0:20:26	不最後に一つだけ言いたいんですけど。
0:20:30	はい。規制庁の団地ですけど、
0:20:34	トピカルレポートやった人間としては、
0:20:38	今ふうにしか規制庁にないんですけど、
0:20:42	やはり
0:20:44	差分含めて許可に書くつもりであったということ。
0:20:48	ですね。
0:20:50	下、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:53	差分ぐらいのところはもう審査してるからそれでいいって今、そういうことで、執行率化を図ると。
0:21:02	もう一つ
0:21:03	実用量もですね、
0:21:07	キャップーン型式のキャスクを取り込む。
0:21:11	そういうことが出てきて、
0:21:15	前例となるので、
0:21:17	規制庁がこういうことを言ってこういう今のでこぼこの、
0:21:23	オノ、
0:21:24	が良いとしたって言われたくないの、そこだけお伝えしておきます。はい。
0:21:38	はい。大津本社のキヨウラでございます。
0:21:43	ちょっと今、いろいろいただいたご指摘を踏まえ、基本的には型式証明で、審査ツツミの話をあまり重複して書くのは、
0:21:55	それほど重要な話ではなく、まず我々の施設との取り合いで、何か今の記載レースの中で、とりあえず条件として明示した方が良いものがあれば、
0:22:07	等とふさわしい場所に追記していくと。
0:22:11	いうようなことでまずは検討させていただきたいと思います。以上です。
0:22:20	規制庁の田仲ですよろしくお願いいたします。
0:22:24	あともう1点あとちょっと前回のヒアリングの時にお伝えして、ちょっと少し、こちらの方がよく考えたらちょっと違うんじゃないかと思うところが1点あるのでお伝えしたいと思うんですけども。
0:22:38	航空機落下確率の件ですけども今回、合計約確率を規制庁の耐震レポート等のデータを使って耐震化を図ると。
0:22:48	いうことで5.3910年
0:22:51	事業あたり、
0:22:52	どうぞ。
0:22:53	という話で
0:22:55	まずは、航空機、生活科の防護設計は変更がないと。
0:23:00	一方墜落に関わる外火災外部火災の評価の方においては、細片化した航空機落下確率をそのまま使うのではなく、
0:23:12	民間の人のデータについては、
0:23:14	従来に入れた方が高いですを使うんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:21	自衛隊機米軍機等の小型機の方については、最新のデータを使うという事になって、そちらの表を立ち上げる等、5. 90 ぐらい。
0:23:33	ことで単純に言うと高級な確率が二つある。
0:23:37	あそこのところを保守的、
0:23:39	やってるんであればそこを
0:23:42	表の方を明確にしてくださいと。
0:23:44	いうふうにお伝えはしたんですけども、
0:23:46	やはりこの、
0:23:48	そもそもがやっぱりこの最頻値県を跨いで、施設の方に反映して考えるという観点で考えたときに、やっぱり複数のそんな高級な確率があるというのは、やはり、
0:24:00	正しくないというふうに思いますので、ああいうベースとしてのグループ化率ってのはどちらの方で退院するんですかという. 9 にするんですか、どういう考えを持ってるんですかっていう。
0:24:12	ところについて改めて、
0:24:14	教えていただきたいんですけども。
0:24:17	お願いします。
0:24:21	あるフェイス本社フルヤですちょっとアノショウガンを切り換えますので少々お待ちください。
0:24:30	RFSむつの岡本と申します。それにつきまして、航空機墜落による火災評価のフローでご説明させていただきます。今ショウガン装置を用いて、こちらが作りました資料を共有させていただきます。
0:24:50	はい、えっとですね、航空機落下による火災評価につきましては、いくつかのステップがございます。まず最初、左側の上の方ですね。
0:25:00	こちらは、まずは、元にしたデータは、最新の航空機落下確率NRAさんの技術ノートで、平成 15 設備、
0:25:13	10、
0:25:14	あれだから、最初 20 年間にですね、評価の方を行っており、ほぼインプットデータにしても聞いております。
0:25:22	で、そこから航空機落下の確率、
0:25:25	の評価をしております。これはですね、落下確率の合計値が 1 のマイナス 7 乗以下であることを確認するものです。このときに、技術ノートを基にしておりますので航空機のカテゴリーを分けておりますが、
0:25:41	これは合計値を算出するためには、菅アノ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:45	カテゴリ分けしているものであって、この分け方は全体を、の数字を出せば、いいような少しアライ、カテゴリーの方でしておりますこれは全体の数字さえかければいいということで、
0:25:59	こういった4、四つのカテゴリーで分けているということになっております。
0:26:04	これで当然ですけれども、1の-70以下であることを確認しております。
0:26:10	次のステップとしてしましては、
0:26:14	下の方ですね。
0:26:15	航空機墜落による火災評価に用いる落下確率の算出をしております。これはあくまでもカテゴリーごとに、
0:26:26	の数のカテゴリーごとに、貯蔵建屋の外壁温度が200℃以下であること等を確認するものであって、ら、墜落確率5の合計値は、火災評価上は用いないということになっております。
0:26:41	ですので、繰り返しになりますか、カテゴリーごとの確率値が重要になってくるということでございます。で、千波上の評価の違いはですね。
0:26:51	訓練空域外の通訳につきましては、従来は1、上の方は一つのカテゴリーですけれどもそれを孔口土肥購入行う大型固定翼機、
0:27:04	基つていうのと、その他機種で分かれ分けております。また、投融資回避コウ方式についても、大型とその他で分けております。このように、
0:27:14	航空機墜落による火災評価につきましては、カテゴリーをさらに分けて評価しているというものでございます。ただし、合計値は菅アノ関係ありませんので、合計値は示していないものの、
0:27:26	合わせたら5.3になるものを今使っていると、いうふうになっております。
0:27:32	で、この確率値を用いて、右側の方ですねフロー、右上の方ですけれども、
0:27:38	航空機墜落により火災による火災評価を行っております。ただしここですれねひし形のところになりますけれども、今回算出したカテゴリーごとに算出したこの航空機の落下確率か、
0:27:52	既評価の、落下確率を下回る場合は、火災評価は明らかに、全既評価の方が高間高井厳しいことになりますので、
0:28:05	下回った確率今回の落下確率で評価してもあまり意味がないということですので、その下に行ってくださいですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:16	今回、継いだ今回の墜落確率が既許可の墜落確率を下回っている場合は、既許可の値が厳しいのは明らかなので、
0:28:27	キクカワの火災評価結果を用いるというものになっております。一方で、今回評価した墜落確率が、既許可のものよりも上回ったものは、それはちゃんと評価しないとイケないんですねっていうことで、それはしっかりと評価をしております。
0:28:43	それが分けたのが、下の表の方にまとめておりまして、新たに評価をしたものは、3の①のコウコードの大型固定及びその他機種が、今回、
0:28:55	の確率が上回っておりますので前回はこれして評価したと。右側の民間航空機の計器飛行方式と自衛隊機及び米軍機の基地訓練空域間往復機の落下事項につきましては、
0:29:08	十全な評価部を上回って、同じかもしくはっておりますので、この値分は持田ということになっております。
0:29:17	ですので、以前の記載の方は、従前の確率をそのまま用いて、この右側の①と④につきましては、従前の確率値をそのまま用いておりますので、
0:29:30	0で二つの確率を、
0:29:32	評価してるように見えたんですが、実際には、最初のデータを用いて評価をしているものの、今回の評価の確率値が従来だって下回ったものは、新たに評価してなくて、従前の評価結果を用いていると。
0:29:46	いうものになります。説明は以上になります。
0:29:51	規制庁の小中です。ご説明ありがとうございます。ちょっと補ちょっと本資料まだ、これ所見の部分も改めてちょっと
0:30:01	ご提出いただいて、このヒアリングで確認した資料にさせていただきたいというのでまずそれをお願いします。
0:30:07	ちょっとこの場で、
0:30:09	この場でこれもちょっと善し悪しをちょっと判断するのはちょっと足りてないので、
0:30:18	即答はしないんですけども、
0:30:21	今の考え方からすると、この航空機契約による語りの評価というのは、既許可の評価の方が、
0:30:29	より厳しい条件であれば、必ずそちらを使うという考えだと理解しましたけれどもそれでよろしいですか。
0:30:39	はい。その理解で結構です。
0:30:41	規制庁の田仲です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:44	そうなると少し気になる場所があって、別なポイントでちょっと後継で落下中について、
0:30:53	ご質問していただいた回答の中で、
0:30:56	ゼンショーの継続時間の考え方の計数については従来の販売という値から1.5倍に減らすと。
0:31:05	そういったところの非保守側の表がパラメーター変更だと思う。
0:31:11	この
0:31:13	評価の評価結果をご指摘見るんだけど、今回の通訳。
0:31:17	広域性や火災の評価の方では、やっぱりそういうケースを、
0:31:21	少し、
0:31:22	裕度を削るというふうな若干
0:31:27	火災評価について、何をしてにとって何を少しより現実的に持っていこうとしてるのかっていうところの整理が何かついてないような気がします。これちょっと感想なんで、
0:31:38	今、回答を求めるものではないんですか。
0:31:41	先生ちょっとこの、この考え方で、目標できるかどうかについてはいけませんちょっと関係なく相談してからちょっと該当させていただいてちょっとこれを引き取らせてください。
0:31:54	規制庁の話です。発言よろしいですかね。
0:32:00	はい、えっとですね
0:32:03	まずこれをどうやって申請書に入れるかっていうところと、
0:32:09	もう一つは今お聞きした。
0:32:12	内容は実は、
0:32:14	理解できてないんですね。
0:32:17	で、
0:32:19	内部で説明をするためにも相当、
0:32:23	大変な時間が必要なので、
0:32:26	なので、
0:32:30	データの変更があって、
0:32:33	小吉良掘削があって、
0:32:37	それを用いて、
0:32:39	分類して、
0:32:41	評価結果がこうなってるっていうことが一番、
0:32:47	簡単といいますかね。
0:32:49	いちいちこの説明を、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:52	許可申請書にどんどん入れてく必要。
0:32:56	うん。ないようにしておけば、
0:33:00	何か、まだこういう、
0:33:04	何て言うんすかね。このイレギュラーが、
0:33:07	計算とか、
0:33:09	またどっかで非保守側に持っていったりですね。
0:33:13	何かこう、もう少し単純化。
0:33:17	すべきじゃないかなってことです。これも、
0:33:23	単なる意見。
0:33:25	ですから、
0:33:26	もうこうした方がいいということではないですけど、はい。
0:33:30	以上ですね。はい。
0:33:41	コメントありがとうございますむつの岡元です。すいません。確認です。今のコメントを要約すると、あの場合は消すんじゃなくて、すべて新しいデータなら新しいデータで火災評価をした方がいいんじゃないかっていう趣旨私はとったんですけども、そういう趣旨でよろしいでしょうか。
0:34:00	はい。規制庁の丹野ですメリットデメリットを申し上げたんで、今回は
0:34:06	結論を
0:34:07	伝えたわけではないと。で、
0:34:10	データをそのまま用いれが、
0:34:13	添付資料には、
0:34:15	それを書く必要ないんですけど、
0:34:18	ここはそのフリーデータ置き換えましたとか、ここは肥後主幹に持ってきますっての、
0:34:26	添付書類に入れていくと、結構、
0:34:29	膨大な文書料になるので、
0:34:32	うん。そういうデメリットがありますよってということをお伝えしたということです。
0:34:39	コメントありがとうございます。
0:34:48	いや、
0:34:52	できてタナカです。1点確認ですけども、RFSとしてはこんな耐震の、この後、トータル 5.3 になるという、このデータで外部火災の航空契約係の評価を、
0:35:08	する。
0:35:09	ことはし、しないで今のこの商売で売ってるフローです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:16	そういうインダということで、それとその 5.3 に直す可能性もどちらなんでしょうか。
0:35:22	基本的な考えとしましては、航空機墜落の火災評価は一応トータルは 5.3 になる内訳でやっているというふうに私は理解しております。ただし、この
0:35:34	確率値が従来値を下回っているものにつきましては、
0:35:38	結果は、もう必ず従来値を下回るので、新たに評価をしなくていいだろうというふうに考えておまして、そこは従来値のアノ値をもう聞いているということになります。
0:35:56	基本は、トータルすると 5.3 ー ー 8 乗になる確率値を用いていると。
0:36:07	級ではタナカです。中江。
0:36:10	続いて若干私の理解が足りてないのか。うん。
0:36:14	もう、
0:36:16	インプットが変わったら、アウトプットもこうですねシンプルでいいんじゃないかなとタグチの意見と同じになってしまうんですけど今そのような考えであるということにはわかりません。ちょっとこれが
0:36:28	この考えでいいかどうかついてちょっと傾聴側で考えさせて、
0:36:35	Rm です。アノオカモトですはい。よろしく願いいたします。
0:36:45	とそそれでは続きまして、
0:36:55	ですから、いやそうです。ちょっと。
0:36:58	タグチさんの方から、3.3. 6 表の件について、
0:37:04	お願いできますでしょうか。
0:37:12	ですね
0:37:14	ちょっとネットワークがうまく繋がってうちに繋がっていないので、はい。
0:37:24	いや私も少し申し上げてそれを附属してもらえばいいですか。先ほどちょっと一部もうすでに伝えた部分もありますけど、
0:37:34	クドウだんだ、大丈夫私が言ったところしていただければいいと思うんですけど。
0:37:44	3.3. 6 という意味。
0:37:48	添付書類の 6 分の
0:37:52	40 ページをね、
0:37:59	今日はこれ、あれ策から
0:38:05	お聞きしようとしたんですけど、
0:38:10	まず、
0:38:12	大賀竹安

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:14	の横にですね、中型とPWRが、
0:38:19	くると。
0:38:21	この際、3タイプについて、
0:38:24	遮へいのところ、
0:38:27	ここは
0:38:29	設工認、
0:38:31	多分型式指定なんて入ると思うんですね。
0:38:36	21Pは、
0:38:39	新しいライブラリーの評価しかしてないので、
0:38:43	そうすると、
0:38:48	一番大きな値、
0:38:51	ですね蓋部とか、そことか。
0:38:54	そういった大変学校に来るだろう。
0:38:58	いうところで、2段書きになっちゃうかなという。
0:39:03	をですね今のところ、
0:39:06	津波、
0:39:09	もう遮へい地ってのは、側部中を、
0:39:13	ということなので、
0:39:18	非常に
0:39:20	困ると思うんですけど、一番簡単な。
0:39:23	もう形の注意書きにして、
0:39:27	補足説明資料の図表何とかって、
0:39:31	言えないので、
0:39:33	もうその
0:39:35	添付2行格上げをして、
0:39:37	今日、
0:39:41	参照する形が一番、
0:39:44	いいのかなと。
0:39:45	で、
0:39:47	ミナミの中で側部治療があったりとしてこれこれ使います。それは、
0:39:52	申請者としては一番いい形がいいなというところ。
0:39:57	提案です。
0:39:59	なので、
0:40:03	ある数としてどう
0:40:06	対応するかっていうのを、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:09	また、
0:40:10	聞かせていただければと思います。
0:40:14	はい、RFSむつ本社の古屋でございます。
0:40:18	今武さんおっしゃったようにまずもともと我々は一部説明が先ほどであったんですけども、基本的にはこのパート、
0:40:29	3.3-6 表の記載があるパート 3.3 シリーズは誘客タイプ 2aについて論じているところではあるんですけども、ご指摘の津波の評価、
0:40:41	その関係性、これを明確にするために、
0:40:45	郡司 3 月で 11 月 15 日にそういうコメントをいただいて、16 日に、
0:40:52	所側で①番の資料お願いします。
0:41:02	先ほどアドバイスをもらって、この 3.3-6 表からひもづける形で、津波評価で関係するところを抜き出して下のちっちゃい表、我々ナガミネ表と呼んでますけどもそこで、
0:41:15	関係性をわかるようにしようということでご提案いたしました。その後改めて田口さんの方からアドバイスをいただき 17 日、アドバイスをいただき、
0:41:26	やっぱり今のご指摘の通り、全体がわかるように、CAPぐるっと見たときに、どうなってるかというものがわかるように、従来適合性説明資料で記載していた図表。
0:41:39	図表と言っているのは表は各部の線量当量率のまとめ、図はどこをはかっているか。それについて、今ご指摘のあったように
0:41:50	適合性説明資料から添付に格上げしたらどうかというアドバイスをいただきましたので、これを反映したものがすいませんショウガンの②番。
0:41:59	こちらになって、
0:42:01	これは添付書類、6 の最後に、
0:42:05	型式通知書等どう添付することができるというガイドがありますのでそれに倣って、この添付書類 6 の添付という形で、それぞれ今回我々が追加しようとしているキャスクA3 タイプ。
0:42:19	についての佐口さんのご意見の、線量当量率の図表、これをこちらに格上げする格好で、オオモトを明確した上で、格上げしようと。
0:42:29	いうことを我々検討いたしました。
0:42:32	これ、これをする事によってまずキャス山体不 3 タイプとも、並ぶものではないけれど、横に並ぶものではないけれども、どれが一番かというものがまず明確になります。それがタグチサノ会呉答えとコメントに対する回答の一つ目。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:48	もう一つは
0:42:50	そうですね。
0:42:52	もう一つは、
0:42:55	はい。より、ここに 3.3. 3-6 表に三つ並んだ方がより明確化になる、なるんじゃないかというアドバイス。これにつきましては、
0:43:06	先ほど見ていただいた 3.3-6 表、これ見ていただくと、ここに、
0:43:12	003 タイプ組み込むと、逆に表の見栄えが煩雑になってしまって、何つうんでしょうわかりやすくしようとしたものが逆にわかりにくくなってしまうということもございますので、
0:43:23	今回我々としては、添付書類 6 の添付 2、
0:43:27	A3 タイプとも、評価結果を並ぶ並ばせたらどうかと、いうことを検討いたしました。こちらの考え方については以上です。
0:43:39	1 点確認なんですけど、3.3. 6 表は、
0:43:44	キャスク一つですか、三つですか。
0:43:49	はい、ARMと本社のフルヤです。江藤は、すでにお送りした案としては、3.3 廃炉 3.3-6 表これは、
0:44:01	許可の表ですので、基本的にはキャスクの 2Aのみが並んでいると。
0:44:07	それ以外について、
0:44:09	3 タイプとも添付というものを使って、表を表現しようということを考えました。ですが今までの議論を聞いていると、この 3.3-6 表にこれ紐付ける形でやった方がいいのかなということも考えますので、
0:44:26	もしかしたらこれまた検討しますけれども、3.3-6 表の遮へいのところに※でも打って、む構台の添付とひもづけることも、いかがかなと。
0:44:37	これまた社内で検討したいと思っています。以上です。
0:44:42	規制庁の田口です。ありがとうございます。
0:45:00	RFSむつ本社のフルヤで数、今の武さん最後のありがとうございますというのはその紐付けというアイデアって、
0:45:10	セトさんとしては、この形であれば、
0:45:15	よりわかりやすい審査に繋がると、そういう意味の
0:45:19	ここをご発言でしょうか。以上です。
0:45:22	規制庁、
0:45:25	田内です。
0:45:30	評価結果を、3 タイプ載せる可能性ないかっていう、
0:45:35	検討するしないっていうのがあって、
0:45:38	検討するっていうのは一つですね、検討の結果はさておいてと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:44	もう一つは
0:45:48	3タイプのその遮へい評価の、
0:45:52	詳細な表が出て、そこで需要がわかると。
0:45:56	ということ。
0:45:58	なので、そこについては、了解しましたっていうことです。はい。
0:46:06	はいRFS物本社の古家です。了解いたしました。ただ私先ほどちょっと 言いかけて詰まった言葉、もう一つありまして、
0:46:16	この3タイプの表を載せるというアイデアなんですけど、まあそうなん ですけども、それと遮へい等の遮へいでは、失礼、津波評価ではここ使 ってる。
0:46:26	何かわかるようにというご発言がございましたが、必ずしもキャスクのこ この3.3杯歩道橋に紐づけて、並べようとしている、遮へいの結果、
0:46:37	これはキャスクがきちっとした健全な状態でのあと1メートルですとか表 面の値になってると、それに対して津波評価で、敷地境界線量が最も高 い云々と言ってるのはまた評価条件が全く違うので、
0:46:51	この津波評価についてこのキャスクのここの値を使っているというこ表 現にはならないと考えていて、津波の評価の方には津波の評価のパー トで、
0:47:03	3タイプ並べて、これが一番厳しいですという見せ方を、我々整理してい ました。以上です。
0:47:10	規制じゃ駄目です
0:47:16	側部中を使いますっていうのは綱ミイに書くっていうことですね。うん。そ れもいいと思います。はい。
0:47:26	IRFSむつ本社です。了解いたしました。
0:47:35	じゃ、
0:47:37	規制庁のタナカです。
0:47:40	コメント続いて適合性、
0:47:44	説明資料の津波のところのコメントがあるかと思えますんで
0:47:50	これこちらから、
0:47:52	連絡してもよろしいでしょうか。それも田部井さんがやっただけばい いです。
0:47:59	これどうしましょう。たくさんあるんですよ。で、
0:48:04	それは今日どう説明をしてもらってから、
0:48:08	こういう内容を、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:10	そのヒアリングの中で聞いて、残ったのをコメントにしてもいいかなと思ってるんですけど何か、
0:48:18	読み上げるか、或いはもう、代表的なところだけお伝えするっていうのがいいか。
0:48:25	どうすんでしょう。
0:48:30	規制庁田中です。もうまずは、事業者さんに伝達としては広げて、まず、
0:48:36	営業読み上げた上で、
0:48:40	その場で回答いただけるものを該当。
0:48:43	していただければと考えているんで、
0:48:48	規制庁丹タグチですけど。
0:48:51	長々と質問をさせていただきます。津波の中、
0:48:57	殊、十条の1からですね。
0:49:01	特にこの赤字の入ってるところになります。
0:49:06	一つ目は、10条の39ページ。
0:49:18	後ろの方で、別添で説明があるかもしれませんが、ちょっと順番にクラスと、
0:49:27	重々参事級で、
0:49:30	下から5行目ぐらいに赤になってますね。
0:49:38	BWRのチーム型PWRの二川鶴君算出根拠を説明していただきたいと。
0:49:49	0.25、10、
0:49:51	ですね。
0:49:54	ここがちょっと、
0:49:56	うんわからないです。はい。
0:50:00	次が5時。
0:50:02	ページですね。
0:50:10	十条、
0:50:11	50ページ。
0:50:13	関連してですね20条の64ページ、71ページになります。
0:50:25	お手がですね、
0:50:29	ら、
0:50:30	50ページです。
0:50:40	これ天井スラブの落下、
0:50:44	で、
0:50:45	キャスター食う。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:48	別に、
0:50:50	落下高さが変わってたり、落下ソフト、
0:50:54	学科ができると。
0:50:56	結果エネルギーが変わると。
0:50:59	なぜこの入力条件、
0:51:02	が異なっていく。
0:51:04	というところを説明されたい。
0:51:08	で、
0:51:10	54 ページ。
0:51:15	これも関連して、
0:51:18	別添五味さん。
0:51:21	別添 6 万 5、
0:51:25	関連します。
0:51:27	今度は天井クレーン落下時か。
0:51:30	これは荷重が、
0:51:34	キャスクごとに変ってます。
0:51:38	この説明をお願いします。
0:51:44	すげえ。
0:51:46	次が 56 ページですね。
0:51:52	ええ。
0:51:53	そう。
0:51:56	それは納付
0:51:58	衝撃を加える蓋部の位置が、
0:52:02	某フランジ面、
0:52:04	胴フランジ側面に変更されてますと。
0:52:10	位置を変えた。
0:52:11	理由を説明されたい。
0:52:16	ちょっとずっと続けてよろしければ続けます。
0:52:22	10 条 62 ページ。
0:52:25	関連で、
0:52:26	73 ページ。
0:52:30	60 ページを、
0:52:36	一時締め付けボルトの結果と判断基準の数値の算出の考えを説明されたい。
0:52:47	ボルトの材質が同じであれば、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:50	一般的時も同じになるわけで、
0:52:53	温度が関係してるだろうなど。
0:52:58	というのが推測されますがと。
0:53:02	次 70 ページ。
0:53:12	75 ページは、
0:53:16	そう。
0:53:19	BWRだけ 10%にしていますが、
0:53:24	これは 30%が、
0:53:29	妥当ではないかと、30%した場合の実効線量は幾つになるか。
0:53:35	説明されたいと。
0:53:38	いうところです。
0:53:41	続いて、
0:53:47	うん。
0:53:48	82 ページの表も簿の 3、
0:53:56	ですね。
0:53:59	型式指定では、この数字は 0.1 から 0.3、違ってますので、
0:54:09	確認いただきたいということですね。
0:54:13	ちなみに、
0:54:15	PWRの合計値が 68.6。
0:54:21	です。はい。
0:54:22	ですから、
0:54:24	少しですね
0:54:28	うん。何らかの
0:54:31	今これの、
0:54:34	今違っているのを示していただきたいと。
0:54:39	次 83 ページ。
0:54:42	クレーンガータな衝突によって、
0:54:46	中性子遮へい材の参照ハダを、
0:54:50	キャスクごとに変えてますが、
0:54:53	その理由を説明されたい。
0:54:59	次は、
0:55:01	別添 5 の 7 ですね。
0:55:11	なるほど。
0:55:13	これもう、
0:55:15	え一つとですね、金属キャスクの加速度。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:19	が、キャスクごとに変わる理由を説明されたいと。
0:55:24	また座屈試験で、
0:55:27	PWR燃料の数値が示されてるんですけど、
0:55:31	参考文献を教えて欲しいと。
0:55:38	日程です。
0:55:42	次は、
0:55:45	別添 5 の中で、
0:55:47	トラニオンのひずんについて、中型の数値の妥当性を説明されたり、
0:55:56	ということ等ですね。
0:56:00	それから、
0:56:02	別添の 6-9、
0:56:12	別添の 6 軒が、
0:56:19	今まで 10 呉幾つ、コメントしたんですけど、
0:56:24	コメントに対する回答を踏まえてですね。
0:56:28	パラメータ量について説明された。
0:56:33	例えば先ほどの
0:56:35	フクイの漏えい率が変われば、
0:56:38	記載も変わってきますので、
0:56:44	変更があれば変更あった内容で説明をしていただきたいということ。
0:56:51	んなります。
0:56:53	すいません
0:56:56	もともと
0:56:57	解析方法が同じで、入力条件も同じであれば、
0:57:03	ここまで細かな質問はしないんですけど、
0:57:06	審査会合を何回もやった。
0:57:10	ところでもありますし、
0:57:13	そもそも評価の、
0:57:15	やり方を変えるとなると、
0:57:18	単純な事実確認だけで済まなくなるということで、お聞きするということ です。
0:57:27	ちょっとこれたくさんあるんで今日、
0:57:30	回答いただくよりも、後日がいいかなと思っています。以上です。
0:57:40	RFS結の岡本でございます。ご質問の趣旨理解いたしましたので、持 ち帰って対応させていただきます。はい。規制庁丹治です。よろしくお願 いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:58	すいません、RFSむつ本社の古谷です。基本的には持ち帰り検討ですができるものはこの場で回答させていただきたいんですけども、よろしいでしょうか。
0:58:09	はい。お願いします。
0:58:11	はい。そうしましたらちょっと所が切り換えますので少々お待ちください。
0:58:37	リサイクル燃料貯蔵本社カトウです。
0:58:41	最初にですね十条の 75 ページ、
0:58:46	BWRだけアノSPの
0:58:50	移行率を 10%使っている理由っていうんですけども、こちらの方ですね、日本原子力学会の市長済み燃料混合酸化物新燃料、
0:59:01	高レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計基準及び、
0:59:06	検査基準 2013 という、学会標準ですね、こちらの方の、
0:59:11	中の記載としまして、今、
0:59:16	ショウガンで示してますけど、附属書系のところに、
0:59:22	PWR燃料で棒では 10%BWR燃料棒で 30%十分安全側となるという記載がありましたので、そちらを用いて、使っております。
0:59:34	ちなみに、これさ、30%にしても、
0:59:41	受江藤 1mSvに対して十分低い値 10 のマイナス 5 乗とか 6 乗の世界ですけども、になっております。
0:59:50	まずあの十条の 75 ページのところに関する質問については、コメントに関しましては以上になりますけども、どうでしょうか。
0:59:58	規制庁の田口です。
1:00:02	参考文献 5 に学会標準ついてますか。
1:00:17	規制庁、野地さん結構です
1:00:23	後で調べますのではい。了解しました。はい。
1:00:34	はい、了解しました。
1:00:38	続きまして、住職の 82 の方で、営業型式証明の値等兵庫の 3 の表が、の値が違う。
1:00:48	理由ということで、すけども、遮へいの方の、
1:00:54	津波時の、
1:00:56	貯蔵区域からの線量に関しまして、遮へいの中央部の値、
1:01:01	要件、磯ユキ中央部の値を計算して使っております。
1:01:06	ですので型式証明とかに書かれていないと、若干値が違ってきます。
1:01:13	というのが事実でございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:16	ただ、確かにおっしゃる通りあっちこちに数値が違うっていうのがあるというのがちょっと、
1:01:24	煩雑というか真木らしいので、こちらの方は型式証明の値にちょっと直し、統一したいと思います。
1:01:33	説明以上、規制庁だったんですが、ちょっとその発言が間違っていて、
1:01:40	型式証明の値を使ってはいけなくて、型式指定のね。
1:01:45	を使う、もしくは型式証明の辺りから少し部位を変えて、
1:01:52	使うということだと思います。はい。
1:02:02	方で、
1:02:03	今使ってるのは株式。
1:02:07	規制とったんです。もう1回言いますと、
1:02:10	型式証明、
1:02:13	というふうに聞こえたんで、ここは
1:02:16	型式指定の
1:02:19	仕事の表があって、私の方ではその腹部中を、
1:02:27	ユフ所が動けしたりしてクラベたんですけど、
1:02:34	型式指定のあたりを、
1:02:38	2問します。もしくは、
1:02:40	若干場所を変えてその線量を、
1:02:45	使うということにします。いずれか。
1:02:49	と理解していいですかね。
1:02:51	リサイクルカトウですすみませんちょっと私が形気象証明としてご説明しまして申し訳ありません。型式指定に統一させていただきたいと 思います。
1:03:02	はい。はい。規制庁田口です。はい、了解しました。
1:03:07	あと続きまして10条の83の中性子遮へい材の損傷幅が違う理由ですけども、こちらの方ですね、キャスクの
1:03:20	キャスクの構造ですね、形状、具体的にはですね中性遮へい材の厚さが、のきや角キャッシュフローと違いますので、損傷幅が違っているという、
1:03:33	ことになります。
1:03:38	坂根。
1:03:40	神保。規制庁丹です。概念はわかりました。はい。
1:03:51	江藤。
1:03:53	車車、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:56	敷地境界線量の評価関係のところについてのコメント、回答は以上になります。
1:04:03	規制庁、田口です。ありがとうございました。
1:04:15	RFSむつ本社の古谷です。本日、お答えできるのはここまでで、それ以外については、すいません持ち帰りあと準備をしたいと思います。以上です。
1:04:32	規制庁の田子です。また準備ができ次第ご連絡をいただければと思います。
1:04:39	軽重から本日お伝えしたいと思ってるのは以上だと思ってます新さんほかありますか。
1:04:50	オオバですね私からは、これだけなんですけど、はい。
1:04:57	規制庁田仲です。承知しました。あれセガワ何かありますか。
1:05:05	はい
1:05:07	藤麻生ですね菅田戸松本社の木村でございますが、ちょっと冒頭の方で議論させていただいた申請書に少しその型式証明
1:05:21	を、
1:05:22	取り合う部分を何かこううまく入れるっていう、
1:05:26	話が、申請書の書きぶりそのものに影響するもので、ちょっと現時点でどう書いたらいいかというアイデアが、
1:05:37	受からないものですから、
1:05:39	そうしますとこの辺りの対応を考えるとちょっと今、
1:05:44	来週には申請させていただきたいと言っていたものが、
1:05:50	ちょっと厳しい。
1:05:52	かと思っておりますが、松木恵三さんの方は、ちょっと私どもの、またスケジュールが若干スライドすることについては、
1:06:05	受け入れたのでございましょうか。
1:06:11	規制庁の田仲です。
1:06:14	スケジュールも大事なんですけどスケジュールありきでは、また、
1:06:20	不足してる部分を再補正となってしまうともう元も子もありませんので、
1:06:25	こちらもちょうとぎりぎりになってまた追加のコメント等を差し上げてる部分もありますので、
1:06:30	はい。
1:06:32	5件、30日ありきではなくタダとはいえあんまり、
1:06:37	ずるずると。
1:06:39	後になってしまってもいけないんですけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:45	30 難しいということ等については承知いたしました。ちょっと
1:06:50	この辺のところも含めてちょっと我々と関係者でちょっと相談をした上でちょっと今後の進め方について改めて相談させていただければと思います
1:07:01	はい。藤部長補佐の木村でございます承知いたしました。こちらもちょうと検討を進めたいと思います。他は特にこちらからはございません。はい。規制庁、
1:07:14	田内です。こういうヒアリングで聞いてどうかなって思うんですけど、許可申請書等、
1:07:21	型式証明書、ハタ率い証明の申請書を公費比較したような、
1:07:28	そういう資料ってのお作りになってないですかね。
1:07:35	はいRFS数。
1:07:37	宇津本社のキムラですが、ここは、そういったものはちょっとつけておりません。
1:07:43	規制庁、田口です。ありがとうございました。
1:07:50	規制庁の田仲です。ちょっと本日の
1:07:55	ヒアリングのものについてはすぐには難しいかもしれません以前、これまでに複数回行ってヒアリング等で、
1:08:01	コメント等の回答資料とか補足説明資料をお願いしたのについては、こちらも
1:08:08	非常にわかり次第ご提出をいただきたい。それについてまた
1:08:13	必要があればヒアリングを行いたいと思いますのでよろしく願いいたします。
1:08:18	はい。光本さん承知いたしました。
1:08:23	はい。規制庁の田仲です。それでは本日ヒアリングはこれで終了したいと思います。どうもありがとうございました。
1:08:30	はい、ありがとうございます。理由でした。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。